

# 美しが丘

神奈川県横浜市青葉区美しが丘

美しが丘は1～5丁目まであり、2、3丁目の一部がクルドサックを多用したラドバーン方式の住宅地である。同地区は元石川第一土地区画整理事業として、昭和30年代から開発が開始されたが市境や鉄塔が障害となって難航。結局、土地の80%が買収済みであったことや、多摩田園都市の中心の立地であったこと、交通事故のないまちづくりの必要性などによりラドバーン方式が採用となる。基本理念は「交通事故ゼロの町」で、人間性の回帰という大きなテーマを含む。高低差処理（35m～90m）と、高圧鉄塔の処理が課題であった。川崎市境に位置し、横浜市と川崎市の2市の協議が必要であった。全国初の歩行者専用道路をつくり、第2の田園調布（高級住宅地）をめざす。

街区計画は歩行者優先道路で、住宅地と公園、ショッピングセンター、駅を結ぶ（歩車分離、幹線道路との交差部には歩道橋を設置）。歩行者専用道路の幅員は8m、5m、3m、歩行幅員（平板舗装、皿型側溝）の1.5m、2m以外は植栽帯として、遊歩道的な性格とすると共に、高級住宅地としての風格を保持する。カーブを多く取り入れたループ道路、クルドサック道路で街区を構成する。



クルドサック広場の植栽帯



幹線道路の並木



街区図

## 計画データー

実施年度	1969 年 11 月
事業者	元石川第一土地区画整理組合(業務代行東京急行電鉄)
基本計画者	東京急行電鉄
事業方式	建売り(共同分譲)、宅地分譲
建築協定	建築協定
街区面積 & 戸数	244,700m <sup>2</sup> & 485 戸